

学校教育目標『夢と希望に向かって努力し、
他を思いやる、豊かな心をもった生徒を育む』

「平成最後の定期考査、お疲れさまでした！」

2月20日（水）から22日（金）の3日間で、1・2年生は学年末考査、3年生は直前考査を実施しました。この平成最後の定期考査に向けて、生徒の皆さんが、日々の授業はもちろんのこと、家庭学習にも時間をかけ、計画的に取り組んできました。試験に向けての準備から今日の試験終了まで、「納得のいく生活が送れましたか？」「学習の成果を出すことができましたか？」一人一人がきちんとした振り返りを行ってください。そして・・・



「反省し、改善するから、進歩があります！！」



来週からは答案用紙が返ってきます。結果は皆さんの努力の成果として素直に受け入れながら、間違えたところや理解できていないところを確実に復習してください。この取り組みを行うことが、一人一人の確実な前進につながります。

ところで、企救中学校の生徒の課題に家庭学習があげられます。やらないといけないことは分かっているながら、なかなか継続できないのが現実です。各家庭でやるべきこともたくさんあります。栄養・睡眠をしっかりとることも大切ですから、家庭学習の

時間はそんなに長くはとれません。ではどうすればよいのでしょうか？・・・答えは簡単。

「**授業で勝負**をかけるしかない！！そして、家に帰って、**もの凄い集中力で短時間の家庭学習を継続**するのです！！」脳科学者の茂木健一郎さんは、それを「鶴の恩返し勉強法」と名づけています。

『鶴の恩返し勉強法』とはいかなるものか・・・？

脳の記憶にはいくつかのタイプがあります。短時間で忘れてしまう記憶（内容）もあれば、長時間頭にとどまってくれる記憶（内容）もあります。人間は長時間記憶をとどめる場合、脳のどの辺りを主に使っているかということ、「側頭連合野（そくとうれんごうや）」と呼ばれる部分だそうです。実はこの「側頭連合野」には大きな特徴があります。それは、そこが五感（視覚→見る 聴覚→聞く 触覚→触る 味覚→味わう 嗅覚→かぐ）が情報として集合するところだということです。そこで、様々な感覚の情報が合流するのをうまく利用することで記憶が強烈に蓄えられるようになり、この特徴をうまく活用して行うのが、「鶴の恩返し勉強法」です。

具体的に説明すると、例えば「言葉」は主に脳の左側（左脳）で処理されますから、英単語を一生懸命覚えるときは、左側の側頭連合野が活発に働きます。

この時に大事なポイントがあります。書き写す際にいったん教科書を伏せ、その言葉を思い出しながら声を出して書くことです。こうすることによって「これを覚えろ！！」という信号が脳に出て、その情報は記憶されやすくなるのです。まるで、1本（①視覚のみ）の矢だと簡単に折れてしまうのですが、3本（①視覚 ②聴覚 ③発音やスペリングの際の運動による感覚）になると折れにくくなるということわざのように。同時に色々な情報を集合させた方が記憶は定着するようです。

この勉強法のコツは、なにふり構わず声を上げ、体全体で行うことが重要だと茂木さんは言っています。眉間にしわを寄せ、ブツブツつぶやいているかと思えば、突然大きな声を出したりする……。無意識のうちにペンを走らせ、スペリングに集中する……。一心不乱にすさまじい形相で学習内容を頭の中に叩き込んでいくわけです。それはまるで、「誰も見てはなりませんぬ……」と言って、我が身を削りながら美しい織物を命の恩人に渡そうとした鶴の機織り（はたおり）に似ている。昔話の「鶴の恩返し」を読んだ人や聞いた人はたくさんいるでしょう。命の恩人である村人にその恩を返そうと、鶴が自らの羽を一本一本抜きながら機（はた）を織る。その時に、「誰も見てはなりませんぬ……」とお願いする場面を覚えているのでは……。『誰にも見せられない姿＝誰にも見せられない勉強法』ということで、茂木さんはこの記憶術を『鶴の恩返し勉強法』と命名したのです。

茂木さんは学生時代からこの方法を使っているそうですが、これさえやれば、英単語をスラスラと覚え、英語ができるようになるかといえば……。そうではないようです。「英単語を覚える」ということに限ればある程度のレベルまでいきますが、言葉というのは単語を覚えるだけではなく、「面と向かって人間同士の会話をする」ということがすごく大事です。実際に英語を使って会話をするという場数を踏むことが重要だと力説されています。



英語のことはかりになってゴメンなさい。例えば、兒玉先生、市川先生、塔崎先生の英語の授業において「声に出して会話をする時間」「英文や英単語を発音する時間」「友達同士で互いに会話の練習をする時間」などありますが、皆さんはその活動に積極的に取り組んでみる必要があります。できるだけ大きな声で反復してください。その時、「家ではなかなか時間が取れなくて勉強できないから、今のうちに覚えてしまおう！！」と強く意識しながら反復してください。ただ何となく声を出していても、残念ながら長期記憶にはつながりにくいと言えます。このほか、ALT のサム先生との様々な時間を活用し、会話練習や英語ゲームなどで楽しく活動するのも良い方法です。

さあ、生徒の皆さん、学年末考査や直前考査の反省をするとともに、自分自身の勉強法を見つけていきましょう。その際、今日紹介した『鶴の恩返し勉強法』は大いに参考にすべきものだと思います。

学校評議員の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

企救中学校をいつも優しく見守っていただいています学校評議員の皆様が2月21日（木）に来校しました。定期考査に真剣に取り組む姿、きちんと整理整頓されて廊下に置かれている企救中バック、各学年が一所懸命に作成した掲示物、掃除の行き届いた校舎内など……。皆さんが日々の学校生活で頑張っている取り組みに対して、たくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。本当にありがとうございました。今後も、企救中学校の一番の応援団として支えてください。よろしく願いいたします。